

# 白根報

## 人口のうごき

(7月1日現在)	(6月中)
人口・33,689	出生・31
男・16,153	死亡・24
女・17,536	転入・62
世帯・6,445	転出・44

### 三年目を迎えた

白根市保健会

## 不幸な子どもを作らない運動を展開

### 自分の健康は自分の手で

「用便のあとには必ず手を洗いましょう」ということは、だれでも知っていることですが、これが百行実行されているかという点、必ずしもそうではないようです。このようにみなさんの知っていること、は実行に移し、知らないことは講習会などを通じて、自分たちの健康は、自分たちの手で守ろうと、四十一年七月に発足した「白根市保健会」の第三回総会が七月九日産業厚生会館で開かれました。



家庭でのお母さんは常に微笑を忘れないで……と宮崎先生

この会は、組織の力で市民ひとりひとりの心に衛生思想をしみこませ、健康で明るい白根市を築いて行こうというのが最大のねらいで、毎年き

めのこまかい事業計画を立てて活動しています。この日は、約九十人の職員が出席して、午前十時吉原ミサホ会長の開会のあいさつにつづいて、吉沢市長など来賓の祝辞のあと、議事にはいりました。

まず昭和四十二年の事業報告や決算報告を承認したあと、普及部、母子愛育部、防疫部、栄養改善部、成人病予防部など各専門部から提案された事業計画や予算案をそれぞれ原案どおり承認しましたことしのおもな活動方針はつぎのとおりです。

**普及部**  
献血思想の普及、血液型の検査、献血手帳の保管及び使用など一連の血液運動を展開し、いま問題になっている「黄色い血」をなくする運動に協力して行く。また、家庭での急診看護法や、家庭医薬品の正しい使いかたなど、とっさの場合にまちがいのない判断

で正しく処置できるようにとこれらの勉強会を開く。

**母子愛育部**  
「不幸な子どもを作らない」ということを主目標として、妊娠中に注意しなければならぬいろいろな問題について学習会を開く。人工妊娠中絶をなくし、健全な家庭づくりと母体保護のため、家族計画の指導会を開く。また、小児の精神衛生について講演会を開く。

**防疫部**  
赤痢予防を最重要事項として、三十秒手洗いの励行及び確認運動の展開、薬剤の共同購入や使用法の指導会を開き運動の徹底をはかる。また結核対策については、結核で死亡する人が少なくなったこと、レントゲン撮影が慢性化したことよって、年々受診者が少なくなってきたこと、全員受診を目ざして呼びかけを行なう。

**栄養改善部**

## 庄瀬と大鷲にプールを建設

### 完成は八月七日ごろ

六月七日から東急興産(東京)の請け負いで工事が進められている庄瀬小学校と、大鷲中学校のプールは、すでに八分どおりできあがり、シー

また、この係新設にもなる機構改革によって出納室内にあった物品係が廃止されました。そのほか、公害防止に関するものを企画室へ、備品、消耗品の出納と現物管理、国民年金印紙の出納保管に関するものを出納室に、消費者行政関係は商工課へそれぞれ分掌させるよう規則が改正されました。

係長以上の人事は次のとおりです。

▽市民課交通対策係長(教委兼学区教育課係長)阿部留吉  
▽教委学校教育課係長(兼白根地区学校給食センター次長(出納室物品係長)浦野弥



完成近い大鷲中プール

中学校に続いて四つのプールができあがることになるわけで、地区の子どもたちから完成が待たれています。

このプールは、これまでのプールと違ってコンクリートは使わないで、底から側まで全部鋼板を溶接して作られるもので、幅十三メートルに長さ二十五メートル、七コースが取れるように作られます。また、プールサイドには洗頭、水飲み場をはじめ、シャワー、足洗い場なども備えられることになっています。そして八月七日には完成して引き渡せるようにと、いま炎天下で工事が急がれています。

これにあてられる建設費は庄瀬小で六百五十六万円、大鷲中では六百四十三万円とすでに今年度の当初予算に計上されていたもので、どちらも財源は市債百万円と国庫補助百万円、それに寄付金四百四十万円(庄瀬)と百六十万円(大鷲)などを見込み、残りは一般財源が当てられます。

年四回食事調査を行ない、その調査結果にもとづいて栄養知識講座や、料理の実習指導会を開き、栄養改善を進める行く。さらに「長生きをするには」と題して講演会を開く。

**成人病予防部**  
住民の成人病に対する意識の向上をはかるため、保健所の医師から「成人病予防について」の講話を聞く会を開く。また、胃がん、子宮がんといったがん検診をはじめ、血圧や循環器などの成人病検診も実施する。

会長に吉原さん再選  
続いて役員改選に移りつぎの人たちが四十三年度の役員に選出されました。

会長 吉原ミサホ  
副会長 吉沢美紀  
理事 石田カウ  
小林いゐ  
佐野千代  
齊藤ツノ  
小山悦子  
岡村ミツ  
古田イヅ  
入山八重  
渋谷チイ  
笠原ヨネ

午後からは、県立新潟学院長の宮崎秀遠先生から「家庭におけるお母さん」と題するつぎのような講演を聞き、午後三時過ぎ散会しました。

**講演要旨**  
家庭でのお母さんは、家庭の味付け役です。家庭を明るくするのにも暗くするのにもお母さんの腕次第です。特に子どもがいる家庭では常に微笑を忘れないようにしてください。母となることは簡単ですが、良い母親となることは非常にむづかしいことです。

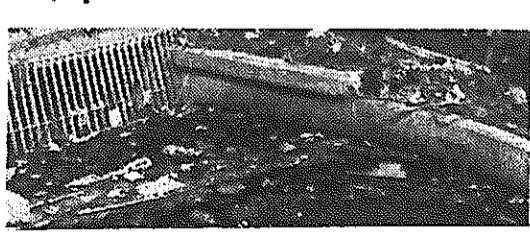
**こん月の納税メモ**

固定資産税 第二期分  
国民健康保険税 第二期分

納期限は七月三十一日です。お忘れなく納めてください。

**ドライバ―保険発売**  
六月一日から全国一斉にドライバ―保険が発売されています。これまでの自動車保険は、車の所有者のみが加入する保険でしたが、免許所有者の増加にもない、車を持つていないドライバ―にも安心して運転ができるように、と新しく設けられた制度で、他人を死傷させたり、財物に損害を与えたりした場合はもちろん、特約をつければ同乗者に対する傷害も保障されます。

## 川へゴミを捨てないで



川へゴミを捨てないで

「ゴミがふえたことは消費水準が向上したことになる。しかし、これも出たゴミを完全に処理してこそはじめていわれることであって、それができないならばいくら消費水準が向上しても、われわれにとっていちはん大切な公德心が依然として低いということになります。

わたしたちのまちにもせつかく近代的でりっぱなゴミ焼却場ができてはいるのに、まだゴミを川や堀へ捨てているのが見受けられます。

そこで県、市町村、住みよい郷土建設協会などがよびかけて、七月十五日から八月三十一日まで「川や海をきれいにする運動」を県民運動として展開しています。早くこういう悪い習慣をなくして清潔で明るい生活環境を築きあげたいものです。

## 子どもを水の事故から守ろう

### 夏休みと水と子どもたち

いよいよ夏休みにはいりました。夏休みといえば子どもの水死事故、夏休みと水と子どもたちは切っても切りはなせません。それほど夏休み中における子どもの水死事故は多いのです。家庭の皆さんかわいい子どもたちを水の事故から守り、元気に姿で2学期を迎えられるよう配慮してあげてください。事故が起ってからではおそいのです。